

クリントートCE (0.08mm厚) の 内張用途における効果確認試験



試験品



慣行品



試験ハウス 湿度が高く水滴がついている

試験目的

クリントートCE (0.08mm厚) の内張時における効果確認

試験作物 及び品種

花卉(ダリア)

試験資材 及び数量(規格)

クリントートCE(クリアーエコ) (0.08mm×330cm×100m) 2枚

慣行資材

クリントートDX(0.05mm) ※内張は5年程度使用
カーテンらくだ(0.075mm)他

栽培方法

定植日
3月下旬

ダリアの他にも他品種も同一ハウスに定植
3月25日頃から定植、12月半ばまで採花

資材使用期間

2月10日頃
～12月

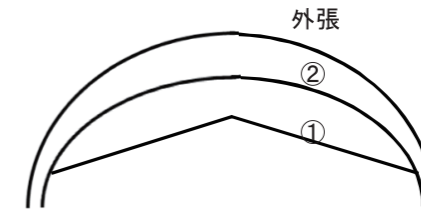
試験区面積

630㎡

3間半×100m 外張クリントートDX0.1mm
(2年目)、内張スソDX0.05mm
※4間半ハウスには、0.15mm品を使用(展張
したままで5年以上使用)
内張はDX0.1mm(中間)、0.05mm(内側)、
4～5年使用。



慣行品 2重カーテン



①1重カーテン
②2重カーテン(試験品クリントートCE)



ダリア生育状況

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

特段の問題なし。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

生育良く、色つきも良い。

モニター感想

流滴効果、透明性に期待して使用してみた。従来、内張には、流滴剤練り込みタイプのクリントートDXを主に使用しているが、昨年にコーティングタイプのクリントートFX(厚さ0.1mm)を内張用途に試験的に使用したところ、その流滴効果、透明性の高さに驚いた。今回、府県では主に外張に使用されているというCEについて、FXの薄肉品として、内張用途における効果について試験してみた。

定植されていない状態では、非常に透明性が高く、温度の立ち上がり早い感覚をもった。また、その流滴効果により、ハウス内の湿度が低く推移している感覚もあった。これらのことは、花卉の生育促進、色づきの向上、病気発生抑制につながることであり、非常に望ましい効果である。DXのような流滴剤練り込みタイプでは2年目ぐらいからポタ落ちしていたが、CEの状況を見ると非常に流滴性能が良く、2年目以降の持続性に期待が持てる。また、灰カビやくされといった症状も発生が少なかったと思う。透明性が高く、それもあってか、生育・色つきも良い。内張については、今後はこの資材を使っていきたい。

JA担当者の感想(越智主査)

生産者については冬季暖房をたいて一年中花き栽培を行っており、秋から春にかけて2～3重ビニールを使用しているためフィルムが汚れない。フィルムの交換時期は、流滴性がなくなりポタ落ちするようになった時である。花き栽培中なので、フィルムの張り替えが非常に困難である。既存のクリントートDX、カーテンらくだのように流滴剤練りこみタイプのフィルムを使用しており、2～3年目になるとポタ落ちが多くなる。花きの品質を落とす原因にもなっており、流滴性が長期間持続してくれて軽いフィルムということで、クリントートCEにたどりついた。試験初年目の今年については透明度、流滴効果ともに非常に良く生産者も大変満足しておりました。内張り用フィルムとしては練りこみタイプのフィルムしかなく、塗布タイプで厚さも0.08ということで作業性も良い。あとは2年目、3年目の流滴性持続を期待している。

今後の使用について

継続して使用したい。

将来希望する資材について

さらに長寿命の資材。外張の薄肉品に興味がある。